



2020年度

## 幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価について

幼保連携型認定こども園における教育及び保育は、乳幼児期全体を通じて、その特徴及び保護者や地域の実態を踏まえ、環境を通して行うものであることを基本とし、家庭や地域での生活を含めた園児の生活全体が豊かなものとなるように努めなければなりません。

幼保連携型認定こども園あがた幼稚園では、保育・教育理念として

- 『笑顔で優しくしっかり抱いて ゆっくりおろして歩かせよ』  
(愛情をいっぱいそそぎ、個々をしっかり見つめふれ合い、自立へと心豊かに生きる力を育む)
- 自ら選択し、工夫して努力し、責任をもって取り組む、生きる力を育てる。
- 自分と周りの人を大切にし、自分の心に挑戦していく、きらり輝いた心をもった子どもたちを育てる

を目指して様々な活動に取り組んでいます。

その活動の質を高め充実させていくために、上記のことを踏まえ、令和2年度自己評価として幼保連携型認定こども園保育・教育要領に基づく自己評価を行いました。

### 評価の目的として

- (1) 幼保連携型認定こども園教育・保育要領を理解し、こどもの最善の利益を実現するために行います。
- (2) 現在行っている教育・保育を様々な観点から見直す手段とします。
- (3) 現状を把握し、次の手立てを考え、実行につなげます。
- (4) 一つ一つの項目の意味を自園の立場から理解し、問い直し、さらなる教育・保育・子育て支援等の質の向上につなげます。

### 評価の方法として

- (1) 子どもを評価するのではなく、保育者自身の保育または園の状況を評価します。
- (2) 「評価項目」で描かれた姿や子どもが育つよう、実際の保育や環境や体制がどのようにデザインされて実施されているかを評価します。
- (3) 5段階評価をし、データグラフでまとめます。
- (4) 以下の7つの項目にわけてまとめる。
  - ① 乳幼児期の園児の保育
  - ② 満1歳以上満3歳未満の園児の保育
  - ③ 満3歳以上の園児の教育及び保育
  - ④ 教育保育の実践に関わる配慮事項
  - ⑤ 健康及び安全
  - ⑥ 子育ての支援
  - ⑦ 職員の資質向上



別紙に自己評価の報告をさせていただきます。職員間でミーティングを重ね、子どもたちの未来のために私たちが取り組んでいくべきことを、今後さらに話し合い考えていこうと思います。「自己評価」の結果を基に、園児ひとり一人の理解を深め、園の職員の質と、子どもたちへの保育・教育の質を更に高めていきたいと思ひます。

## 幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価

作成日 令和3年3月17日

法人名	園名																
学校法人吾田学園	幼保連携型認定こども園 あがた幼稚園																
全体平均 3.98																	
第2章第2節 乳児期の園児の保育	園の保育・教育理念の1つである「笑顔で やさしく、しっかり抱いて ゆっくりおろして 歩かせよ」の思いを大切に乳児保育の環境を整えてきたつもりであるが、園児一人ひとりの存在を大切に、温かい家庭的な雰囲気のもとに、愛情をより注いでいくには、更なる保育者の優しい微笑みや会話を大切にしていきたい。																
第2章第3節 満1歳以上満3歳未満の園児の保育	健康や環境、表現などにおいてはある程度の充実した自己評価を捉えることができたが、人間関係や言葉など園児一人ひとりの気持ちに対して更に丁寧に接していくことが求められているように感じられた。この要因として、途中入園が多く、子どもの遊ぶ空間が狭くなったり、じっくりと対応する環境が難しくなったことも考えられる。																
第2章第4節 満3歳以上の園児の教育及び保育	全体的に充実した自己評価が得られていた。これは、園の保育・教育理念の中にある「自ら選択し、工夫して努力し、責任をもって取り組む、生きる力を育てる」と「自分と周りの人を大切にし、自分の心に挑戦していく、きらり輝いた心をもった子どもたちを育てる」から、園の環境を十分に生かして、園児の心と体の成長が感じられ、保育者と園児との信頼関係が深まっていることも考えられる。																
第2章第5節 教育及び保育の実践に関わる配慮事項	保育者が、衛生的に注意を払っていることや、園児一人ひとりの成長を大切にしていることが評価されている。園児の行動や気持ちを認めながら、焦らずに援助していく見守る大切さを改めて感じている。																
第3章 健康及び安全	園児の健康増進や食育の充実等の取組において、自然に恵まれた地域性や環境の工夫により充実が図られている。また、施設の安全性や災害発生時の対応も、園児や職員の命を守るために真剣な対策がとられている。ただし、更に危険度が高い災害や様々な状況を考えて、安心することなく、緊張感をもって、地域の方や関係機関と連携を深めて、今後も訓練や対策を行ってきたい。																
第4章 子育ての支援	園や保育者が子どもの成長を感じられる便りや会話を心掛けることによって、より信頼が深まっていると感じられる。また、地域の人材を活用したり、気軽に来園できる温かな雰囲気のある環境を作ることで、地域の親子が楽しく集える場になりつつあるように感じている。																
第5章 職員の資質向上	職員の専門性を高めるために、外部への研修も含めて、多くの研修に参加する機会を作っている。しかし、限られた勤務時間の中で、より効果的に研修の質を高めていくかを工夫していく必要も感じられる。																
総合	地域に根ざした認定こども園として、「子育ての支援」が全体的に充実しているように感じられた。また、乳児や満1歳以上3歳未満の幼児には、目に見えて成長を感じられる姿は顕著には見られないかもしれないが、心温かく優しい環境を大切にすることによって、満3歳児を越えた頃から子どもの成長を感じる場面が多く捉えられているように感じた。自己評価をすることによって園の取組の良さや改善点に分かり、今後改善して、より質の高い教育・保育をめざしていきたい。																
<b>データ表</b>																	
内容	項目数	平均															
「乳児保育」	15	3.87	<b>データグラフ</b> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>「乳児保育」</td><td>3.87</td></tr> <tr><td>「3歳未満児保育」</td><td>3.88</td></tr> <tr><td>「3歳以上児保育」</td><td>4.06</td></tr> <tr><td>「教育保育の配慮事項」</td><td>3.94</td></tr> <tr><td>「健康・安全」</td><td>3.97</td></tr> <tr><td>「子育ての支援」</td><td>4.11</td></tr> <tr><td>「職員の資質向上」</td><td>4.00</td></tr> </table>	「乳児保育」	3.87	「3歳未満児保育」	3.88	「3歳以上児保育」	4.06	「教育保育の配慮事項」	3.94	「健康・安全」	3.97	「子育ての支援」	4.11	「職員の資質向上」	4.00
「乳児保育」	3.87																
「3歳未満児保育」	3.88																
「3歳以上児保育」	4.06																
「教育保育の配慮事項」	3.94																
「健康・安全」	3.97																
「子育ての支援」	4.11																
「職員の資質向上」	4.00																
「3歳未満児保育」	32	3.88															
「3歳以上児保育」	53	4.06															
「教育保育の配慮事項」	16	3.94															
「健康・安全」	29	3.97															
「子育ての支援」	18	4.11															
「職員の資質向上」	9	4.00															
計	172	3.98															